

2020年度 年末手当シリーズ②

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

「増収増益」の過去最高の業績で貯め続けた内部留保金。絶好調のときは「万が一のときに」ってボーナスを出し渋り、その「万が一のとき」は今でしょ！

黒字のときでも社員に還元率は低く抑えられた。コロナ禍のときこそ、還元をするべきだ！

月々の収入の赤字分を、手当で補填しているのが我が家の現実です。会社の状況も厳しいでしょうが、私をはじめ、多くの組合員・社員のみなさんの生活が厳しい生活を余儀なくされているのが実態だと思います。

みんなで力を合わせ、何が何でも年末手当の満額獲得を達成しましょう！

会社はコロナ禍以前まで、連続して「増収増益」の中、業績に見合った年末手当回答は一度もなかった！

会社は「生活安定給」ということで、これまで回答してきたというならば、これまで通り安定支給をするべきだ！

満額3.0ヶ月獲得するために、本部と共に闘うぞ！

内部留保金、今使わなかったら使える場所がない！

コロナ禍で鉄道輸送を守り抜いている我々に、今こそ会社は報いなければならない！

職場では最前線で感染拡大防止対策と収入確保において尽力している！満額獲得においてお互い頑張りよう！